

2018年10月26日
日 本 銀 行

中国人民銀行との為替スワップ取極締結について

日本銀行では、2018年10月26日、中国人民銀行との間で、両国の信用秩序を維持し、もって経済発展のための経済金融活動を下支えする観点から、人民元および日本円を相互に融通するための為替スワップ取極を締結した。

本取極による引出限度額は、日本銀行において2,000億人民元、中国人民銀行において3.4兆円である。また、本取極の有効期限は2021年10月25日である。

わが国と中国は金融経済面での結びつきを強めており、本邦金融機関の人民元建てのビジネスも拡大してきている。日本銀行は、本邦金融機関の人民元の資金決済に不測の支障が生じ、わが国金融システムの安定確保のために必要と判断する場合には、本スワップ取極を活用して、人民元の流動性供給を行う方針である。